

# 教室は いごこちのよい場所

## 塩田小学校～特別支援教育～

創意工夫のある効果的な取組をなさっている学校を取材し、紹介するコーナーです。

特別支援教育について、嬉野市立塩田小学校(ふれあい1組、担任：白仁田和世先生)の取組を、ポイントを3つに絞って紹介します。

ポイントは、次の3つです。

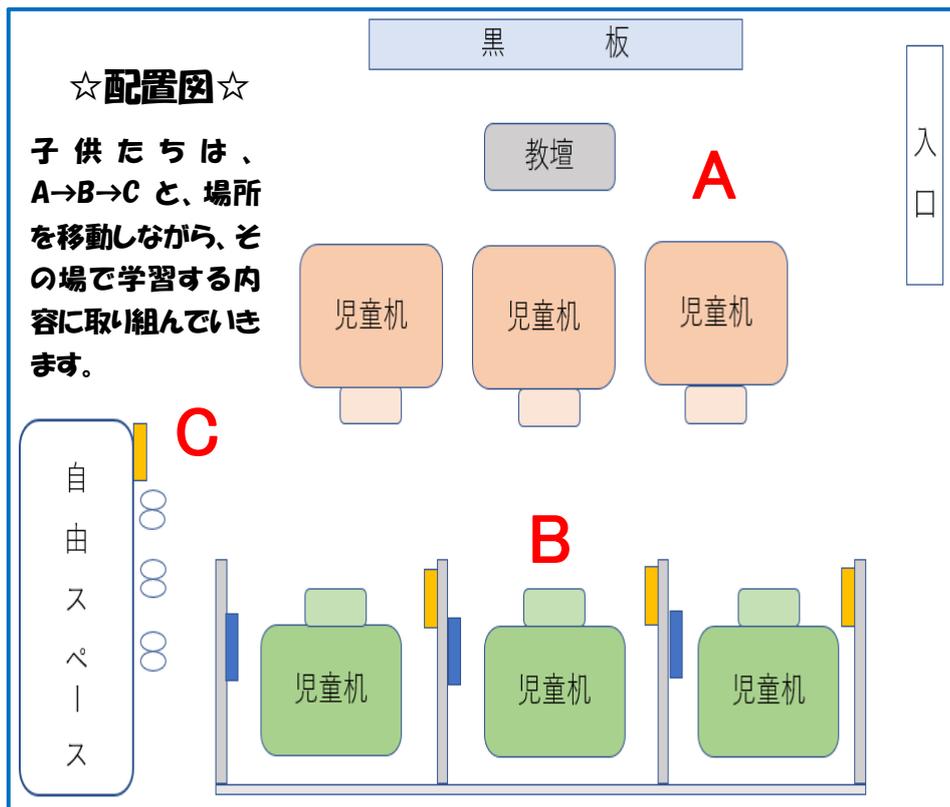
- 工夫1・・・学習環境（どのような学習の場が確保されているのか）
- 工夫2・・・学習内容（学習内容をどのように工夫されているのか）
- 工夫3・・・視覚化（「自分で見てわかる」ような手立てについて）

ここで紹介する取組は、特別支援学級だけではなく、通常の学級でも生かすことができるものです。各学校にて、参考にさせていただきたいと思います。

### 【工夫1】学習環境(スペース)

教室には、黒板前の「A＝一斉学習スペース」、後方の「B＝個人学習スペース」、窓際の「C＝自由スペース」があり、学習内容や活動内容に応じた「学習環境(スペース)」が確保されていました。

このようなスペースで学習している子供たちは、先生の指示がなくても、自分で判断して次の学習に取り組むことができていました。



## 【工夫2】学習内容

子供たちの状況を考慮して、「個人に応じた学習内容(プラン)」を作成されています。子供たちはそれぞれの活動に集中して取り組んでいました。

### ① 漢字カードで学習

はじめは絵だけを見せて、何の漢字かを考えさせます。絵から漢字に変わっていく場面では、子供たちは身を乗り出すほど興味津々な様子でした。



### ② ひらがなチップで学習

ひらがなチップの中から、絵に合う文字を選び、1つ単語を完成させます。できあがったら、黒板に貼りに行きます。先生にほめられてうれしそうでした。



### ③ 一人でべんきょう

一斉学習が終わったら、次は個人学習がスタート。個人に応じた自力で解ける課題を、先生が準備されています。子供たちは全部が終わったら先生に報告して、「ごほうびタイム」で楽しんでいました。



### ④ 今日のスケジュール

個人スペースの仕切り部分には、1日のスケジュールと、1時間ごとの学習内容が提示されています。スケジュールの内容は、一人ひとり違います。



## 【工夫3】視覚化

教室には、口頭での指示を極力減らすために様々な視覚化の手立てが施され、子供たちが「自分で見てわかる」ようになっていました。

### ① 時間割の確認

1週間の時間割のうち、今日の時間割が青く囲まれています。この「囲み」はテープで貼られているため、翌日は、隣の欄に移動させることができます。



### ② 学習道具の整理

棚の上にカゴがあり、一人ひとりの学習道具が整理されていました。自分の「スペースが見える」ことが、学習道具の管理につながっています。



### ③ 「ごほうびタイム」を選ぶ

「ごほうびタイム」の活動内容は、全部で10種類準備されていて、自分で選ぶことができます。子供たちが選んだ内容で、その日の状況を見取る手がかりにもなります。



### ④ 今日のスケジュール

自由スペースの入口には、「足あとマーク」があります。自由スペースに入る時には、マークのところに、きちんと上靴を並べることができます。



## 【指導のポイント】

白仁田先生は、以下のことを踏まえて、「授業づくり」や「学級経営」をされています。

**「子供たちが安心して自信をもって学習できるように日頃心がけていること」**

### 《 実践内容 》

- ① 同じことを繰り返し行う。
- ② 短時間で終わる学習活動を3つ設定する。
- ③ 動ける(合理的離席の)時間を確保する。
- ④ 興味をもっていることを題材にする。
- ⑤ できたことを大いにほめる。
- ⑥ 最後に、ごほうびタイムでリラックスして終わる。

効果として考えられること  
活動の繰り返しが「安心感」につながる。  
子供の「集中力」が養われ、  
できる喜びが「達成感・自己有用感」につながる。  
「切り替え」ができる。

子供たちにとって「教室はいごちのよい場所」のようです。そのため、安心して生活ができ、全ての活動に集中することができていました。また、授業づくりや学級経営の様々な場面で「ルール・順番・パターン・場所(居場所)」も盛り込まれており、その結果、子供たちに「落ち着き・集中・規律」が生まれていました。そして、何より、先生の特別支援教育に対する熱い情熱を感じました。



## 離島研修 in 馬渡島

まだらしま



7月23日(月)、東松浦地域の新規採用教職員を対象にした離島研修を馬渡島で行いました。

- 丹野校長先生の講義「離島教育について」
- 校内見学(教室、シェルターがある体育館 等)
- 島内見学(職員住宅、天主教会、児童養護施設「聖母園」)

### 参加者の感想

- 子供たちの活動の様子を映像で見せていただいた。どの活動を見てもいきいきとした表情が印象的で、私も今後離島で働く機会があれば、子供たちや地域の方々とともに、生徒の成長を見届けていきたいと思いました。
- 訪問させていただいた馬渡島には、「島ならではの良さが詰まっていた。なにより、先生方の楽しみながら取り組まれる姿や、島への大きな愛情がひしひしと伝わってきました。教育の視点のみならず、人としての視点としても学ばせて頂きました。
- 規模や環境は違うものの、離島研修で実感した地域との連携によって生まれる力というものを日々の教員生活でも意識して、今後の教育活動に生かしたいと思いました。

研修の様子は、北部支所のホームページにも掲載しております。